

## 特集

### ライターSの患者さんインタビュー② 「口呼吸が改善！ 治療をして良かった」

3年間の動的治療を経て、現在リテーナー中というSさんにお話しを伺いました。インタビューの内容をダイジェスト版でお届けします。全文はホームページをご覧ください。

◆矯正治療を始めようと思っただけは？

—中学生の時に両親に勧められて矯正治療を受けようと思ったことがあるのですが、抜歯の説明を聞いたから怖くなってやめたんです。それが大学生になった頃、鏡を見ていて気になりだし、やろうかなと思うようになりました。

◆ひるま矯正歯科を選んだのは？

—インターネットで探していたのですが、ホームページに治療方針がきちんと書かれてあったのを見て、ここは良さそうだなと

ピンとききました。院長先生がしっかりと説明してくれたので治療を受けることに決めました。

◆治療はいかがでしたか

—上下左右4番と親知らずを抜歯しました。抜かなくていいのかなと何となく思っていたのですが、出っ歯だったので抜歯しないと引っ込まないよと説明を受けてやっぱ引くのか...と。でも最終的にこういうふうになりますよと石膏模型やCGを見せてもらったので、ああこういうふうになるなら抜いてもいいかなと今度はすぐに決断しました。

治療中痛いのは、ワイヤー調整後の3日間ぐらい。でも動いているなどというのがわかるので痛さも我慢できます。学生生活に影響はまったくありません。多少滑舌は悪くなりますが、勉強にも関係ないし恋愛にも関係ない。それらに何らかの支障があるとすればそれはむしろ自分に問題があるからでしょう(笑)。

◆治療をして変化は？

—一番大きなことは鼻で呼吸ができるようになったことです。以前はいつも口が開いていて口呼吸だったのが、前歯が引っ込んできたぐらいいから徐々に鼻の通りが良くなってきたのを実感しました。花粉症もひどかったのですが軽減されて、とても嬉しいです。

◆医院の改善すべき点は？

—待合室の本棚に、僕ぐらいの年代の人が読む雑誌がないところです！ 女性誌やファッション誌が多いので、もう少し種類を増やしてほしいです(笑)。

歯は、最初に説明を受けた通りになって満足です。点数をつけるとすれば90点、10点は減点というわけではなく、まだ完全に終わっていないので、これからあと一年ぐらいで100点になるかそれとも下がるのか判断したいと思います(笑)。

無事治療を終えて100点満点！と笑うSさんにお会いしたいです。もう少し頑張ってください！(S)



### Sさんの症状について解説します

●初診時の診断「叢生、上下顎前突(両突歯列)」

Sさんは歯並びと噛み合せの改善を主訴に来院されました。症状は顎の大きさに対して歯が大き過ぎる事が原因で前歯のデコボコ(叢生)と上下顎前歯が前方に突出する上下顎前突(両突歯列)を認めました。特記事項としては上顎右側中切歯(1番)をぶつけて欠けてしまっておりプラスチックで形態修正されています。

治療方針は、上下左右第1小臼歯(4番)と親知らずを抜歯して顎骨内にスペースを作り、そのスペースを利用して叢生を改善、さらに前歯を後退させて口元の突出感を改善するとしました。治療予定期間は30ヵ月でしたが治療途中に大白歯のズレが出てきてしまい38ヵ月かかってしまった事が反省点です。しかし、上下顎前歯は最大で10ミリ後退し口元の突出感やオトガイ部の緊張感が改善しています。リテーナーになってからホワイトニングを行い、変色した1番のプラスチックを修復しなおしました。



<治療前>

<治療後>